

喜多方美術倶楽部と 大正浪漫展

1998

7月18日(土)

8月30日(日)



◇開館時間 ● 10:00 ~ 18:00 (入館は17:30まで)

◇休館日 ● 月曜日(7/20(祝)は開館)及び7/21(火)

◇観覧料 ▲ 一般 500円(400円)

▲ 高・大学生 300円(250円)

▲ 小・中学生 200円(150円)

※ () は20名以上の団体料金

喜多方市美術館

〒996-0087 喜多方市宇鶴巻5307-13

TEL/FAX (0241) 23-0404

磐越自動車道開通一周年記念展



山内 神彦 六座帖

大正から昭和にかけての一時期、かつての喜多方町を中心としたこの地方を、当時のわが国を代表する画家たちがしばしば訪れ、ある時は長期に滞在して制作活動をした記録が残されています。そして彼らの活動を支援するために「喜多方美術倶楽部」が結成され、この地方の各界の人たちが組織的にかかわったことも、多くの人の知るどころです。このことは、欧米を範としたわが国文化の新たな時代風潮が、その頃ようやくこの地方にも及んできたことを物語っているのではないかと思います。

当時のこの活動の背景としてあったのは、一つには、美術に多大な関心を寄せた美術愛好家があったという、このちほうの民度の高さ。そして岩越鉄道（現在のJR磐越西線）の開通や出版物の普及により、新しい時代の情報や人の交流が促進され、人々の関心が会津の外に向けられるようになったこと。さらには、岩越鉄道の郡山・若松間に続いての新津までの路線を、当時の鉄道会社の未払株を引き受けることで、喜多方経由の路線に決定させたなど、この地方の人たちの財力も無視するわけにはいきません。

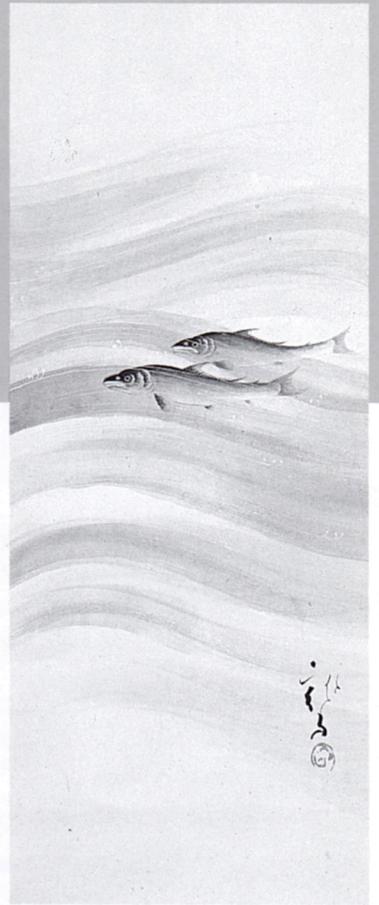
「喜多方美術倶楽部」は大正7年に結成され、喜多方地方の素封家たちが会員として名を連ねています。会員たちが作品を購入したり、作家の逗留を支援したりしたことで、結果的に多くの作品や緑の品々がこの地方に残ることになりました。喜多方美術倶楽部には作品を倶楽部が所蔵し、それを広く紹介する美術館的な構想もあったようで、喜多方美術倶楽部の設立や運営には、高邁な理念と理想があったことも伺われます。

この「喜多方美術倶楽部と大正浪漫展」を企画することで、喜多方美術倶楽部を改めて紹介し、これに関わった人々の高い見識を顕彰できればと考えています。

喜多方市美術館



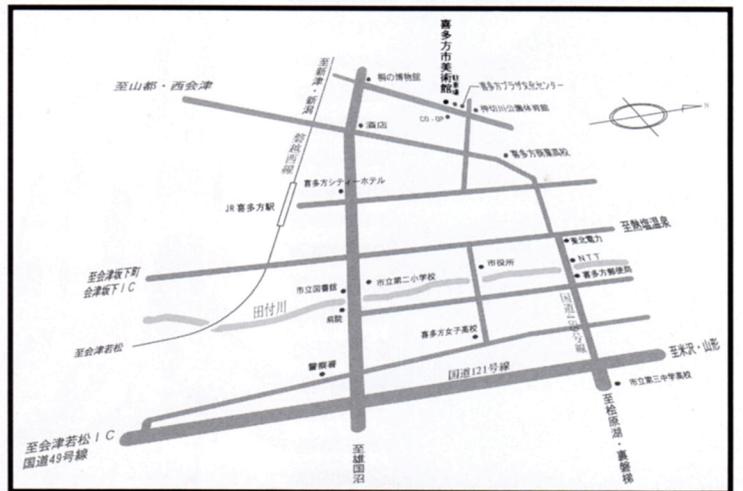
小川 千斐 山村閑秋



川端 龍子 鮎



近藤 浩一路 山都絵日記



＜交通のご案内＞

お車で	磐越自動車道 郡山JCT 35分	会津若松I-C 30分	喜多方
	" 会津坂下I-C 40分		喜多方
電車で	磐越西線喜多方駅より	徒歩15分	
	"	車 5分	